

# 議案第5号 令和5年度小松島市競輪事業特別会計予算

## (1) 歳入

(単位：千円、%)

	令和5年度 当初予算額 A	構成比	令和4年度 当初予算額 B	構成比	(A-B)/B	備考
競輪事業収入	24,467,384	98.5	19,315,684	97.5	26.7	
入場料	154	0.0	154	0.0	0.0	
勝者投票券発売金額	24,450,000	98.4	19,300,000	97.4	26.7	
通常競輪開催事業分	18,550,000	74.7	13,800,000	69.7	34.4	
記念競輪開催事業分	5,900,000	23.7	5,500,000	27.7	7.3	
払戻金切捨収入	17,200	0.1	15,500	0.1	11.0	
過誤収入	30	0.0	30	0.0	0.0	
財産収入	1,118	0.0	1,313	0.0	△14.9	
競輪事業等基金収入	1,118	0.0	1,313	0.0	△14.9	
繰入金	273,273	1.1	391,100	2.0	△30.1	
繰越金	100	0.0	100	0.0	0.0	
雑収入	98,125	0.4	98,803	0.5	△0.7	
使用料	797	0.0	797	0.0	0.0	
雑収入	97,328	0.4	98,006	0.5	△0.7	
うち場外発売収入	50,850	0.2	54,625	0.3	△6.9	
うち払戻金及び返還不能収入	11,658	0.0	11,384	0.1	2.4	
歳入合計	24,840,000	100.0	19,807,000	100.0	25.4	

## (2) 歳出

(単位：千円、%)

	令和5年度 当初予算額 A	構成比	令和4年度 当初予算額 B	構成比	(A-B)/B	備考
総務費	455,249	1.8	541,235	2.7	△15.9	
一般管理費	61,633	0.2	64,772	0.3	△4.8	
施設費	393,616	1.6	476,463	2.4	△17.4	
競輪開催費	24,278,433	97.8	19,209,252	97.0	26.4	
競輪振興法人交付金	569,983	2.3	462,439	2.3	23.3	
通常競輪開催事業分等	364,221	1.5	265,797	1.3	37.0	
記念競輪開催事業分	130,107	0.5	120,987	0.6	7.5	
競輪振興法人交付金(延納分)	75,655	0.3	75,655	0.4	0.0	
開催費	23,708,450	95.5	18,746,813	94.7	26.5	
従事員報酬	40,624	0.2	40,125	0.2	1.2	
通常競輪開催事業分	17,813,066	71.7	13,408,962	67.8	32.8	
うち選手賞金	698,950	2.8	532,787	2.7	31.2	
うち場外分委託料	2,597,000	10.5	2,067,603	10.4	25.6	
うちの中車券払戻金	13,912,500	56.0	10,350,000	52.3	34.4	
記念競輪開催事業分	5,426,660	21.9	4,962,326	25.1	9.4	
うち選手賞金	100,000	0.4	88,000	0.4	13.6	
うち場外分委託料	808,912	3.3	655,000	3.3	23.5	
うちの中車券払戻金	4,425,000	17.8	4,125,000	20.8	7.3	
包括業務委託事業	428,100	1.7	335,400	1.7	27.6	
公債	200	0.0	200	0.0	0.0	
利子	200	0.0	200	0.0	0.0	
諸支出金	101,118	0.4	51,313	0.3	97.1	
基金費	1,118	0.0	1,313	0.0	△14.9	
繰出金	100,000	0.4	50,000	0.3	100.0	
予備費	5,000	0.0	5,000	0.0	0.0	
歳出合計	24,840,000	100.0	19,807,000	100.0	25.4	

- 令和5年度競輪事業特別会計当初予算の歳入歳出総額は、令和4年度当初予算から50億3千300万円、率にして25.4%増加し、総額248億4千万円となっています。主要要因として、(1)市営競輪の開催日数が令和4年度より9日増加すること、(2)新型コロナウイルスの感染拡大以降、急激に売り上げを伸ばしているインターネット経由による売り上げが、令和5年度もさらに伸びるとの見方が大勢を占めていることなどによるものです。また、施設整備等基金を財源とした女子選手対応宿舍新築事業に関連する必要経費についても予算計上しております。

#### 歳入について

- 開催日数については合計で64日を予定しており、令和4年度の55日から9日増える見込みとなっています。グレード別では、GⅢの開設記念競輪が4日、FⅠが6節18日、FⅡについてはモーニング競輪が6節18日、ミッドナイト競輪が8節24日となっています。このうち、FⅠ開催の1節は、より多くの売り上げが見込まれるWJC(西日本カップ※準記念)の開催となっています。
- 場外発売については、GP・GⅠ・GⅡ・GⅢを中心に、WJC(西日本カップ※準記念)やFⅠの発売を予定しています。
- 開催収入である競輪事業収入については、総額で244億6千738万4千円を計上しています。売上げ見込みのうち、通常競輪開催事業分として、昨今、業界の売り上げを牽引しているミッドナイト競輪やモーニング競輪による売り上げ増加や、WJC(西日本カップ※準記念)の開催を予定していることなどから、前年度より47億5千万円多い185億5千万円。また、開設73周年記念競輪開催事業分として、全国的な売り上げ動向や前年度の売り上げ実績を考慮し、59億円を計上しています。
- 繰越金及び競輪事業基金からの繰入金については、令和4年度当初予算と同様に各10万円を計上しているほか、施設整備の財源として、施設整備等基金からの繰入金2億7千317万3千円を計上しております。
- 雑収入については、令和4年度から67万8千円少ない9千732万8千円を計上しており、場外発売に伴う施行者配分にあたる収入や、走路面広告料収入等が主な内訳となっています。

#### 歳出について

- 総務費については、令和4年度に引き続き女子選手対応宿舍新築事業に関連する必要経費等を予算計上したことにより、4億5千524万9千円を計上しています。
- 競輪開催費については、市営競輪開催日数の増加や、昨今、急激に売り上げを伸ばしているインターネット投票等への必要経費を見込み、前年度比26.4%増の242億7千843万3千円を計上しています。
- 競輪振興法人交付金については、開催日数増加や売上見込みの増加に伴う必要経費や、これまで猶予されてきた交付金の均等返還分も合わせて、交付金全体で前年度比23.3%増の5億6千998万3千円を計上しています。
- 開催費については、通常競輪および記念競輪ともに売上増加を見込んでおり、的中車券の払戻金や(公財)JKAに対する競技業務委託費、場外発売場・サテライト場への開催委託料、包括業務にかかる委託料等を予算計上したことにより、前年度比26.5%増の237億845万円を計上しています。
- 公債費については、令和4年度と同額の20万円を一時借入金利子として計上しています。
- 諸支出金については、基金費に基金積立金利子の積み立てを想定するとともに、繰出金として、令和4年度から倍増となる1億円を計上し、1億111万8千円を計上しています。